

波蘇名所圖會

三篇



特別
へ4
5445
3











熊谷漫

遊子大根 老翁
勢守
主十 山崎の志
いそいでかよふ
あつてあつて
主三 けい橋
ひろのわんまの
城のまことと
ふせきま方の
ひらき大根
主五 聖徳板
主六 千柳亭
主七 三のつひ
主八 今宵の
主九 びん朱
板



源谷

永川社
行版四
尚友子
主十 藤まきわつらん
きやあ川の
水のこつ径
主十一 浦和
主十二 千柳亭
旅籠の
あつてあつて
たまも浦和の
あつてあつて
主十三 廢宿
二本松
泰星閣
主十四 今夕のついでとび
どろろ茶の湯
いそいであつて





岩村田

岩村田なるものむるも鼻をさする所の山をいふ

月輪堂

法人の林に於てある堂なり月輪の堂

是も又月の輝きや月の輝きの中を信じて

法人の権を以てすまはけいしつかや月の輝き

堂にさかふかといふ堂なり月輪の堂

夏の夜にまじりてある堂なり月輪の堂

小田井者

法人の神をいふて法人の小田井をいふ者のか

子高なる小田井の宿の女をいふ小田井の宿をいふ

夕暮れに寺かきまじりて小田井をいふ者なり

月見井

苗代のかほりてある小田井の月見井

福良

忠内

本丸

度記

真波

内人

豆名

梅人

松林

松林

松林

松林

前田

かきむらぎの山をいふ前田の山をいふ

上田

ゆきむらぎの山をいふ上田の山をいふ

追分

まじりてある山をいふ追分の山をいふ

小松

ゆきむらぎの山をいふ小松の山をいふ

法同

ゆきむらぎの山をいふ法同の山をいふ

全

ゆきむらぎの山をいふ全の山をいふ

法同

ゆきむらぎの山をいふ法同の山をいふ

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

松林

高橋城

極政社

今治市

上毛信

鏡湖亭

高橋城 高橋城の跡 高橋城の跡 高橋城の跡
 極政社 極政社の跡 極政社の跡 極政社の跡
 今治市 今治市の跡 今治市の跡 今治市の跡
 上毛信 上毛信の跡 上毛信の跡 上毛信の跡
 鏡湖亭 鏡湖亭の跡 鏡湖亭の跡 鏡湖亭の跡

高橋城 高橋城 高橋城
 極政社 極政社 極政社
 今治市 今治市 今治市
 上毛信 上毛信 上毛信
 鏡湖亭 鏡湖亭 鏡湖亭

作野の渡

空沼橋

榎也
田林

定家社
馬川

作野の渡 作野の渡の跡 作野の渡の跡 作野の渡の跡
 空沼橋 空沼橋の跡 空沼橋の跡 空沼橋の跡
 榎也 榎也の跡 榎也の跡 榎也の跡
 田林 田林の跡 田林の跡 田林の跡
 定家社 定家社の跡 定家社の跡 定家社の跡
 馬川 馬川の跡 馬川の跡 馬川の跡

作野の渡 作野の渡 作野の渡
 空沼橋 空沼橋 空沼橋
 榎也 榎也 榎也
 田林 田林 田林
 定家社 定家社 定家社
 馬川 馬川 馬川

又下

十 東部の... 馬川一... 孫の...
 十 馬川... 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...
 十 孫の... 村...

合羽村

新所

合宿官

舟本

舟本

舟本

舟本

十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...
 十 舟本... 舟本... 舟本...

舟本

舟本

舟本

舟本

舟本

舟本

舟本

多胡村

わきあつたまよとよては流すく羊くもろ多胡の碑
^十 矢をりてさふらうらなほの世はまき羊のなほりて又
^十 海すきて世にあらん三百人羊ふ給ふ多胡のまよ
^八 多胡の碑とらぬ人の流すて羊の名すりふひえ
^七 いちの流すていんいんの羊の大人の碑と指とて
^ハ さつろつ海はつと流のまよふひいかなの流すて村
^七 流川の流すて糸よち流物流流物の出と本庄
^ハ いんさくむいかりを流人よかり是流の回木のまよ
^ハ 豆流(いん)をたよつぬまてつりかた流の流すてまよ
^一 十の流のわいのまよから経冊とてまよるいん流すて
^十 面すてまよ流の大人流すてまよのまよまよ
^ハ 流すてまよ流(いん)の流すて流すてまよまよ
^ハ まよる流のまよまよまよまよまよまよまよまよ

経書

下毛

流

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

保谷

秩父山

まよる流のまよまよまよまよまよまよまよ

山

山

山

留山
尾流
利根川

まよる流のまよまよまよまよまよまよまよ
^ハ 利根川の流すて糸よち流物流流物の出と本庄
^ハ いんさくむいかりを流人よかり是流の回木のまよ
^ハ 豆流(いん)をたよつぬまてつりかた流の流すてまよ
^一 十の流のわいのまよから経冊とてまよるいん流すて
^十 面すてまよ流の大人流すてまよのまよまよ
^ハ 流すてまよ流(いん)の流すて流すてまよまよ
^ハ まよる流のまよまよまよまよまよまよまよ

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

かこ系
玉井村
熊谷系

まよる流のまよまよまよまよまよまよまよ
^ハ 玉井村の流すて糸よち流物流流物の出と本庄
^ハ いんさくむいかりを流人よかり是流の回木のまよ
^ハ 豆流(いん)をたよつぬまてつりかた流の流すてまよ
^一 十の流のわいのまよから経冊とてまよるいん流すて
^十 面すてまよ流の大人流すてまよのまよまよ
^ハ 流すてまよ流(いん)の流すて流すてまよまよ
^ハ まよる流のまよまよまよまよまよまよまよ

山

山

山

山

山

山

文更下

蓮ヶ寺

在 実

若川

吹上

きんちのたふき皮の澄ぬきけちくは所傳

高のそいつ今も出法のま盛るしあの本のまきや

空実の身よ運法の澄より矢もも運法運法の神

ほりも梅さく日家のつらまはつらつはつらつ川

まじりの他のま盛る盛を清のつらつらふまのまや

名物とせせせせし林傳法くまのまの運法の水仕女

名物の神まかきりて若川の信伝傳一吹上のま

一まのまの信伝傳法くまの信伝傳法くまの代

ほの信伝傳法くまの信伝傳法くまの信伝傳法くまの

りらりかよりてまの信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の

度ちの信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の

素因者を行腕かして信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の

信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の信伝傳法の

水去

吉田

友友

早の石

芳以

元成

義者

去

去

去

去

去

修の果

今 勝頼寺

今 人形

今 信

今 標新田

年と座ていしくはまてははのうて本もあははどのま

休のまよひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

修の果よひもまの信のまよひもまの信のまよひも

東 布一丸

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

修の果

相川宮

まじりの他のま盛る盛を清のつらつらふまのまや

相川

日暮里

栗川翁

栗野

遊色窟

海老寺
お七の巻

為込

如雲屋

河沿

全天神

中野

七
おらるるはハ巾くまはをきりふらんひとしは

八
おつまねの本すゑにぬれを居るははらりりの中

九
おのうゝあひてまきつひ人のまじく風とかり川の右

十
人はのまゆもはらぬあまのまよもの所はけまけそ

十一
お中まごる枝まらふいんをんつそ新あそ居

十二
おまのつうまのふるまをらんお七ままそまらハ

十三
お海老のまかろお七まらつまのまらまのまらまら

十四
おまのまらつひまらお七まらまらまらまらまら

十五
おまのまらつひまらお七まらまらまらまらまら

十六
おまのまらつひまらお七まらまらまらまらまら

十七
おまのまらつひまらお七まらまらまらまらまら

十八
おまのまらつひまらお七まらまらまらまらまら

尺附
まの会

尺附
新流

尺附
口九

尺附
新義

尺附
松院

尺附
真古

尺附
新樹

尺附
新九

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

新田社

今市

全人丸社

山井坂

山井坂

全森山

橋子橋

節遠橋

柳系

河内所

水原子

八
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

九
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十一
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十二
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十三
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十四
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十五
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十六
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十七
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十八
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

十九
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

二十
おまのまらつひまらお七まらまらまらまら

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

尺附
新流

新名所

十一 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十二 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十三 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十四 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十五 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十六 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十七 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十八 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十九 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 二十 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに

作中
 久法
 一里
 松友子
 孤子
 杉樹
 一園
 信樹
 慶任
 表杉
 安太
 古石
 尚友子
 牛成

今川橋

十軒店

本四
ハルエス
合式亭

十一 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十二 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十三 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十四 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十五 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十六 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十七 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十八 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十九 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 二十 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに

作中
 久法
 一里
 松友子
 孤子
 杉樹
 一園
 信樹
 慶任
 表杉
 安太
 古石
 尚友子
 牛成

山歌堂

浮世やめ

三井店

室所

十一 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十二 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十三 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十四 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十五 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十六 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十七 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十八 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十九 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 二十 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに

作中
 久法
 一里
 松友子
 孤子
 杉樹
 一園
 信樹
 慶任
 表杉
 安太
 古石
 尚友子
 牛成

十一 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十二 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十三 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十四 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十五 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十六 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十七 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十八 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 十九 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに
 二十 寺の前の茶の店にひらいた茶屋のついでに

作中
 久法
 一里
 松友子
 孤子
 杉樹
 一園
 信樹
 慶任
 表杉
 安太
 古石
 尚友子
 牛成

二冊

アヲス

クヲス

海屋

。丁

岐蘇名所圖會三編終

本名所圖會のついでに本所ありぬり
友らる林のついでに本所の様をいひて後年
津門

嘉永五壬子晩夏刊成

春友亭藏板

